



平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年2月3日

上場会社名 株式会社三菱ケミカルホールディングス 上場取引所 東・大
 コード番号 4188 本社所在地 東京都
 (URL <http://www.mitsubishichem-hd.co.jp/>)
 代表者 取締役社長 富澤 龍一
 問合せ先責任者 役職名 広報・IR室長 中山 哲也 TEL (03) 6414-4870

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有

中間連結財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、税金費用の計上基準等、一部簡便的な方法を採用しております。

会計処理の方法の変更の有無：無

(注) ㈱三菱ケミカルホールディングスとして最初の四半期業績の概況であり、会計処理の方法の変更については、該当ありません。

株式移転に伴う資本連結手続きに関する事項

三菱化学㈱及び同社の子会社であった三菱ケルファ㈱は、平成17年10月3日に株式移転の方法により、完全親会社（持株会社）となる㈱三菱ケミカルホールディングスを設立しました。
この株式移転に関する資本連結手続きについては、持分法・リツク法に準じて処理をしております。

| | | | | | |
|-----------------|-----|------|----|------|----|
| 連結及び持分法の適用範囲の異動 | 連結 | (新規) | 7社 | (除外) | 7社 |
| の有無：有 | 持分法 | (新規) | 1社 | (除外) | 3社 |

(注) 新規の連結には、株式移転に伴う子会社化1社（三菱化学㈱）を含んでおります。

2. 平成18年3月期 第3四半期の業績概況（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

当第3四半期の㈱三菱ケミカルホールディングスの連結財務諸表は、三菱化学㈱の中間連結財務諸表を引き継いで作成しているため、前年同四半期・前連結会計年度欄に三菱化学㈱の前期連結決算数値を記載して比較しております。

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期(当期)純利益 | |
|----------------|-----------|------|---------|------|---------|------|------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 平成18年3月期 第3四半期 | 1,753,373 | 9.2 | 113,069 | 2.1 | 125,605 | 8.3 | 72,530 | 49.1 |
| 平成17年3月期 第3四半期 | 1,606,220 | 13.4 | 115,538 | 54.0 | 115,961 | 81.5 | 48,654 | 65.9 |
| (参考) 平成17年3月期 | 2,189,462 | | 148,624 | | 148,069 | | 55,372 | |

| | 1株当たり 四半期(当期)純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期(当期)純利益 | |
|----------------|---------------------|----|--------------------------------|----|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 平成18年3月期 第3四半期 | 61 | 38 | 61 | 22 |
| 平成17年3月期 第3四半期 | 22 | 38 | 22 | 20 |
| (参考) 平成17年3月期 | 25 | 40 | 25 | 20 |

(注) 当第3四半期の1株当たり四半期(当期)純利益の算出に当たって、中間期の各月末の発行済株式数については、三菱化学㈱の発行済株式数に同社株式に対する㈱三菱ケミカルホールディングス株式の割当比率を掛けたものを、当第3四半期(10～12月)の各月末の発行済株式数については、㈱三菱ケミカルホールディングスの発行済株式数を用いた期中平均株式数を使用しております。

なお、前期の1株当たり四半期(当期)純利益については、三菱化学㈱の期中平均株式数が使用されています。

また、当期首に株式移転により当社が設立されたものとみなし、中間期の三菱ケルファ㈱(株)グループの少数株主利益3,963百万円を加算した四半期(当期)純利益と、㈱三菱ケミカルホールディングスの発行済株式数(当期首に株式移転が行われたとみなした場合の期中平均株式数)を用いた場合の当第3四半期の1株当たり四半期(当期)純利益は、55円75銭です。

当第3四半期の売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

| | 総資産 | | 株主資本 | | 株主資本比率 | | 1株当たり株主資本 | |
|----------------|-----------|--|---------|--|--------|-----|-----------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | 円 | 銭 | |
| 平成18年3月期 第3四半期 | 2,159,103 | | 628,525 | | 29.1 | 458 | 66 | |
| 平成17年3月期 第3四半期 | 2,047,261 | | 440,680 | | 21.5 | 202 | 70 | |
| (参考) 平成17年3月期 | 1,970,528 | | 445,977 | | 22.6 | 205 | 09 | |

(注) 前期の1株当たり株主資本については、三菱化学㈱の発行済期末株式数が使用されています。

3. 経営成績（連結）の進捗状況、財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等

（1）全般概況

第3四半期までの日本経済は、米国及び中国向けを中心とした輸出の伸長や、企業の旺盛な設備投資、個人消費の堅調等により全般に順調に推移しました。

当社グループの事業環境についても概ね良好でありましたが、ナフサ価格が下期以降一段と上昇するなど、引き続き先行き予断を許さぬ状況にあります。

この様な状況の中で、当社グループの第3四半期の売上高は1兆7,534億円(前年同期比1,472億円増(+9.2%))、営業利益は1,131億円(同24億円減(-2.1%))、経常利益は1,256億円(同96億円増(+8.3%))となり、当期純利益は725億円(同238億円増(+49.1%))となりました。

（2）部門別の概況

石化セグメント

石油化学部門の基礎素材であるエチレンの生産量は、第1四半期に水島事業所の定期修理、地震・機械トラブルによる一時的な生産停止等により、91万トンと前年同期を7%下回りました。基礎石化製品・化成品・合成繊維原料及び合成樹脂は、原料価格が引き続き上昇を続ける中で、スチレンモノマー、エチレングリコール、テレフタル酸等の海外市況は弱含みでありましたが、国内では需給が概ね高水準で推移し、また、原料価格高騰に応じた製品価格の是正も進みました。

以上の結果、石化セグメントの売上高は7,658億円(前年同期比841億円増(+12.3%))、営業利益は、上記定期修理等の影響により254億円(同176億円減(-41.0%))となりました。

当第3四半期（平成17年10月1日～平成17年12月31日；以下同じ）に石化セグメントで実施または発生した主な事項は、以下の通りです。

- (株)ジャパンエナジーとの間で、同社との共同投資により輸入コンデンセート（天然ガス随伴原油）を原料として芳香族製品、軽質ナフサ等を生産する設備を新設することに合意。（11月）
- 三菱化学(株)鹿島事業所（茨城県神栖市）においてオレフィン・アロマセンター競争力強化のための原料多様化対応設備設置工事が完了。（12月）
- 日本ポリプロ(株)が、鹿島工場（茨城県神栖市）にポリプロピレン製造設備（年産30万トン）を新設することを決定。（12月）
- 三菱化学(株)が、エムシーシー・ピーティーエー・インド社（インド共和国西ベンガル州コルカタ）において、年産80万トン規模の高純度テレフタル酸設備の増設を決定。（12月）

- 三菱化学(株)が、ソフトアルキルベンゼン製造設備を平成 18 年 3 月末を目途に停止し、同事業から撤退することを決定。(12 月)
- ヴイテック(株)が、塩化ビニルモノマーの生産能力 5 万トンの増強(35 万トン/年 40 万トン)を実施。(12 月)

機能化学セグメント

機能性樹脂、食品機能材などは、引き続き順調に推移しました。情報電子関連製品のうち DVD は、販売価格の下落を数量増で補い堅調でした。OPC ドラム、トナーなどの印刷材料、カラーレジストなどのディスプレイ材料は、販売価格は下がりましたが、出荷は好調でありました。炭素事業のうちコークスは好調でありましたが、カーボンブラックは、原料価格高騰の影響を受け厳しい状況で推移しました。肥料は、原料価格高騰のもと、収益確保に努めました。

以上の結果、機能化学セグメントの売上高は 3,970 億円(前年同期比 471 億円増(+13.5%))、営業利益は、381 億円(同 70 億円増(+22.6%))となりました。

当第 3 四半期に機能化学セグメントで実施または発生した主な事項は、以下の通りです。

- 三菱化学メディア(株)が、マスタリング用ディスク「Green Tune」CD-R を開発し、プロフェッショナル向けに販売を開始。(11 月)
- 三菱化学(株)が、オレフィン系熱可塑性エラストマー「サーモラン」とスチレン系熱可塑性エラストマー「ラバロン」の併産設備に加え、オレフィン系重合型熱可塑性エラストマー「ゼラス」の生産設備の増設を決定。(11 月)
- 三菱化学(株)が、青色レーザーダイオードや青色発光ダイオードに使用される GaN(窒化ガリウム)基板のサンプル出荷を開始。(11 月)
- 三菱化学(株)が、四日市事業所(三重県四日市市)において重合トナー生産設備を増設。(12 月)

機能材料セグメント

各種フィルム・複合フィルム・シート製品は、液晶ディスプレイ用保護フィルムなど情報電子関連産業向けを中心に、好調に推移しました。複合材などの建築材料及び炭素繊維・アルミナ繊維などの産業資材は、順調に売上げを伸ばしました。

以上の結果、機能材料セグメントの売上高は、2,759 億円(前年同期比 80 億円増(+3.0%))、営業利益は原材料費高騰の影響もあり 170 億円(同 3 億円減(-1.5%))となりました。

当第 3 四半期に機能材料セグメントで実施または発生した主な事項は、以下の通りです。

- 三菱樹脂(株)が、透明蒸着ハイバリアフィルム「テックバリア」にガスバリア性を向上させた X シリーズの販売を開始。(12 月)

ヘルスケアセグメント

医薬品は、脳保護薬「ラジカット注」や抗血小板剤「アンプラーグ」等の販売が堅調に推移しました。臨床検査事業は、新規ブランチラボの稼働が寄与したことから売上げが増加し、治験検査事業も順調に推移しました。以上の結果、ヘルスケアセグメントの売上高は、2,195億円(前年同期比56億円増(+2.6%))、営業利益は326億円(同64億円増(+24.3%))となりました。

当第3四半期にヘルスケアセグメントで実施または発生した主な事項は、以下の通りです。

- (株)ベネシスが、オサダノ工場(京都府福知山市)において血漿分画製剤の一貫製造を開始。(10月)
- 三菱ウェルファーマ(株)が、血栓溶解剤(静注用遺伝子組換えt-PA製剤)「グルトパ注」について、効能追加として虚血性脳血管障害急性期に伴う機能障害改善の承認を取得。(10月)

サービスセグメント

エンジニアリング部門及び物流部門を中心に各事業とも概ね順調に推移し、第3四半期までの売上高は952億円(前年同期比24億円増(+2.5%))、営業利益は79億円(同8億円増(+11.0%))となりました。

当第3四半期にサービスセグメントで実施または発生した主な事項は、以下の通りです。

- 三菱化学物流(株)が、川崎近海汽船(株)と共同で、平成18年7月を目途に北関東/日立港と北九州/日明港とを高速大型RORO船2隻でダイレクトに結ぶ新サービスの開始を決定。(12月)

その他の部門

当第3四半期にセグメント以外の各部門で実施または発生した主な事項は、以下の通りです。

- 三菱化学(株)が、東京電力(株)及びJFEホールディングス(株)との間で、クリーンな次世代の新燃料としてのジメチルエーテルの利用技術について共同研究を行うことに合意。(11月)
- 三菱化学(株)と(株)三菱化学科学技術研究センターが、青色有機EL(エレクトロ・ルミネッセンス)用途布型発光材料で、世界最高効率の素子の開発に成功。(12月)
- 三菱化学(株)が、四日市事業所(三重県四日市市)に、お客様への提案型及び研究開発型施設を新設することを決定。(12月)

- 配当原資の確保等を目的として、平成 18 年 2 月 22 日に臨時株主総会を開催して、資本準備金の減少議案を付議することを決定。(12月)

(3) 財政状態(連結)の変動状況

当第3四半期末の総資産は、期末休日及び売上高の増加等による営業債権の増加に加え、原料価格高騰によるたな卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べて、1,886億円増加し、2兆1,591億円となりました。

また、三菱化学㈱及び同社の子会社であった三菱ウェルファーマ㈱は、平成17年10月3日に株式移転の方法により、完全親会社(持株会社)となる㈱三菱ケミカルホールディングスを設立しました。これにより、資本が849億円増加しております。当期純利益及びその他有価証券評価差額金等の増加も含めると、当第3四半期末の資本は、前連結会計年度末に比べて、1,825億円増加し、6,285億円となりました。

4. 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

当第3四半期までの業績は順調に推移しており、第4四半期において、ヘルスケアセグメントで季節的要因と平成18年4月に実施される薬価改定を控えての売上高の減少及び機能化学セグメントで炭素製品の海外市況悪化の懸念がありますが、グループ全体として中間決算発表時の業績予想は達成する見込みです。

通期業績予想(平成17年11月10日発表)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|----|-----------|---------|---------|--------|
| 通期 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| | 2,400,000 | 132,000 | 136,000 | 74,000 |

(1) 連結損益計算書

(単位: 百万円)

| | 当第3四半期 (平成17.4.1~平成17.12.31) | 前年同四半期 (平成16.4.1~平成16.12.31) | 増減 | 前連結会計年度 (平成16.4.1~平成17.3.31) |
|-------------------|---------------------------------|---------------------------------|----------|---------------------------------|
| 売上高 | 1,753,373 | 1,606,220 | 147,153 | 2,189,462 |
| 売上原価 | 1,353,154 | 1,213,554 | 139,600 | 1,668,818 |
| 売上総利益 | 400,219 | 392,666 | 7,553 | 520,644 |
| 販売費及び一般管理費 | 76,698 | 72,235 | 4,463 | 95,816 |
| 一般管理費 | 210,452 | 204,893 | 5,559 | 276,204 |
| (販売費及び一般管理費計) | (287,150) | (277,128) | (10,022) | (372,020) |
| 営業利益 | 113,069 | 115,538 | 2,469 | 148,624 |
| 営業外収益 | | | | |
| 受取利息 | 1,325 | 821 | 504 | 1,178 |
| 受取配当金 | 3,493 | 2,487 | 1,006 | 3,573 |
| 持分法による投資利益 | 11,217 | 7,274 | 3,943 | 8,999 |
| 為替差益 | 5,499 | 1,667 | 3,832 | 4,081 |
| 固定資産賃貸料 | 2,708 | 2,870 | 162 | 3,777 |
| その他 | 6,302 | 3,882 | 2,420 | 6,112 |
| (営業外収益計) | (30,544) | (19,001) | (11,543) | (27,720) |
| 営業外費用 | | | | |
| 支払利息 | 8,297 | 8,320 | 23 | 10,856 |
| 出向者労務費差額負担 | 3,519 | 3,373 | 146 | 4,541 |
| その他 | 6,192 | 6,885 | 693 | 12,878 |
| (営業外費用計) | (18,008) | (18,578) | (570) | (28,275) |
| 経常利益 | 125,605 | 115,961 | 9,644 | 148,069 |
| 特別利益 | | | | |
| 投資有価証券売却益 | 1,735 | 1,503 | 232 | 2,038 |
| 固定資産売却益 | 1,308 | 2,468 | 1,160 | 3,143 |
| 制度変更による退職給付引当金取崩益 | - | 2,387 | 2,387 | 2,427 |
| 営業譲渡益 | - | 425 | 425 | 535 |
| その他 | 330 | 498 | 168 | 1,455 |
| (特別利益合計) | (3,373) | (7,281) | (3,908) | (9,598) |
| 特別損失 | | | | |
| 早期定年退職一時金 | 1,817 | - | 1,817 | 3,300 |
| 投資有価証券評価損 | 1,024 | 1,713 | 689 | 3,453 |
| 固定資産整理損等 | 953 | 1,546 | 593 | 7,383 |
| 関係会社整理損 | 397 | - | 397 | 917 |
| 固定資産減損損失 | 338 | 13,914 | 13,576 | 17,302 |
| 固定資産整理損失引当金繰入額 | 150 | - | 150 | 3,493 |
| 退職給付会計基準変更時差異償却額 | - | 6,048 | 6,048 | 8,061 |
| その他 | 1,519 | 1,967 | 448 | 7,154 |
| (特別損失合計) | (6,198) | (25,188) | (18,990) | (51,063) |
| 税金等調整前四半期(当期)純利益 | 122,780 | 98,054 | 24,726 | 106,604 |
| 税金費用 | 41,079 | 39,239 | 1,840 | 40,827 |
| 少数株主利益 | 9,171 | 10,161 | 990 | 10,405 |
| 四半期(当期)純利益 | 72,530 | 48,654 | 23,876 | 55,372 |

(注)前年同四半期の表示

前年同四半期欄(平成16年4月~平成16年12月)には、三菱化学㈱の前期連結決算数値を記載して比較しております。

(2) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | 当第3四半期末 (平成17.12.31) | 前連結会計 年度末 (平成17.3.31) | | 当第3四半期末 (平成17.12.31) | 前連結会計 年度末 (平成17.3.31) |
|------------|-------------------------|-----------------------------|-----------------|-------------------------|-----------------------------|
| 流動資産 | 1,064,582 | 914,879 | 流動負債 | 963,172 | 882,542 |
| 現金及び預金 | 99,688 | 55,223 | 支払手形及び買掛金 | 367,222 | 339,417 |
| 受取手形及び売掛金 | 529,974 | 471,080 | 短期借入金 | 241,570 | 275,027 |
| たな卸資産 | 328,567 | 277,721 | コマーシャルハ-ル- | 97,000 | 15,000 |
| その他の金 | 108,458 | 113,182 | 1年以内償還社債 | 20,000 | 37,229 |
| 貸倒引当金 | 2,105 | 2,327 | 賞与引当金 | 14,527 | 25,573 |
| | | | その他の引当金 | 7,839 | 11,077 |
| | | | その他 | 215,014 | 179,219 |
| 固定資産 | 1,094,521 | 1,055,649 | 固定負債 | 499,475 | 502,605 |
| (有形固定資産) | (675,186) | (674,953) | 社債及び転換社債 | 214,726 | 229,922 |
| 建物及び構築物 | 213,291 | 217,074 | 長期借入金 | 155,911 | 146,899 |
| 機械装置及び運搬具 | 229,761 | 232,661 | 退職給付引当金 | 102,212 | 102,600 |
| 土地 | 177,964 | 176,169 | その他の引当金 | 12,193 | 12,618 |
| 建設仮勘定 | 32,132 | 26,538 | その他 | 14,433 | 10,566 |
| その他 | 22,038 | 22,511 | | | |
| (無形固定資産) | (22,175) | (27,773) | 負債合計 | 1,462,647 | 1,385,147 |
| 連結調整勘定 | 7,122 | 12,120 | | | |
| その他 | 15,053 | 15,653 | 少数株主持分 | 67,931 | 139,404 |
| (投資その他の資産) | (397,160) | (352,923) | | | |
| 投資有価証券 | 324,664 | 257,887 | 資本金 | 50,000 | 145,086 |
| その他の金 | 73,768 | 96,388 | 資本剰余金 | 412,879 | 117,108 |
| 貸倒引当金 | 1,272 | 1,352 | 利益剰余金 | 216,021 | 162,966 |
| | | | 土地再評価差額金 | 1,886 | 1,901 |
| | | | その他有価証券評価差額金 | 76,981 | 37,794 |
| | | | 為替換算調整勘定 | 9,309 | 17,917 |
| | | | 自己株式 | 119,933 | 961 |
| | | | 資本合計 | 628,525 | 445,977 |
| 資産合計 | 2,159,103 | 1,970,528 | 負債、少数株主持分及び資本合計 | 2,159,103 | 1,970,528 |

(注)前連結会計年度末の表示

前連結会計年度末欄(平成17年3月31日)には、三菱化学(株)の前期連結決算数値を記載して比較しております。

(追加情報)

連結子会社の資産及び負債の評価に関する事項

連結子会社の資産及び負債の評価について、三菱化学(株)は部分時価評価法を採用していましたが、(株)三菱ケミカルディングスとしては全面時価評価法を採用しております。

平成18年3月期 第3四半期 参考情報

セグメント別連結売上高及び営業利益

セグメント別連結売上高

(単位:百万円)

| | 当第3四半期 (平成17.4.1～平成17.12.31) | 前年同四半期 (平成16.4.1～平成16.12.31) | 増減 | 前連結会計年度 (平成16.4.1～平成17.3.31) |
|-------|---------------------------------|---------------------------------|---------|---------------------------------|
| 石化 | 765,773 | 681,713 | 84,060 | 933,425 |
| 機能化学 | 397,011 | 349,932 | 47,079 | 470,801 |
| 機能材料 | 275,894 | 267,864 | 8,030 | 356,641 |
| ヘルスケア | 219,543 | 213,913 | 5,630 | 276,953 |
| サービス | 95,152 | 92,798 | 2,354 | 151,642 |
| 合計 | 1,753,373 | 1,606,220 | 147,153 | 2,189,462 |

セグメント別連結営業利益

(単位:百万円)

| | 当第3四半期 (平成17.4.1～平成17.12.31) | 前年同四半期 (平成16.4.1～平成16.12.31) | 増減 | 前連結会計年度 (平成16.4.1～平成17.3.31) |
|--------|---------------------------------|---------------------------------|--------|---------------------------------|
| 石化 | 25,356 | 43,007 | 17,651 | 58,586 |
| 機能化学 | 38,117 | 31,097 | 7,020 | 40,926 |
| 機能材料 | 17,026 | 17,283 | 257 | 21,499 |
| ヘルスケア | 32,573 | 26,196 | 6,377 | 28,410 |
| サービス | 7,889 | 7,107 | 782 | 11,215 |
| コーポレート | 7,892 | 9,152 | 1,260 | 12,012 |
| 合計 | 113,069 | 115,538 | 2,469 | 148,624 |

(注) 当連結会計年度より、連結子会社1社について、当社グループにおける事業上の位置付けを変更したことに伴い事業内容の実態をより明確に反映させるために、その所属する事業区分をヘルスケアセグメントから機能化学セグメントへ変更しております。

この変更により、従来の事業区分によった場合に比べて、売上高がヘルスケアセグメントで713百万円減少、機能化学セグメントで713百万円増加しております。

なお、営業利益に与える影響は軽微であります。

また変更後の区分に基づき、前年同四半期・前連結会計年度についても数値の組替を行っております。

平成18年3月期 第3四半期連結決算概要

平成18年 2月 3日
 (株)三菱ケミカルホールディングス

1. 業績

| | 当第3四半期 | | 前年同四半期 | | 増減 | | 通期予想 (H17.11.10公表) |
|--------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-------|--------|--|-----------------------|
| | (H17.4.1 - H17.12.31) | (H16.4.1 - H16.12.31) | (H16.4.1 - H16.12.31) | (%) | (%) | | |
| 売上高 | 17,534 | 16,062 | 1,472 | 9.2% | 24,000 | | |
| 営業利益 | 1,131 | 1,155 | 24 | 2.1% | 1,320 | | |
| 金融収支 | 35 | 50 | 15 | | | | |
| その他営業外 | 48 | 18 | 66 | | | | |
| 持分法損益 | 112 | 73 | 39 | | | | |
| 経常利益 | 1,256 | 1,160 | 96 | 8.3% | 1,360 | | |
| 特別利益 | 34 | 73 | 39 | | 30 | | |
| 特別損失 | 62 | 252 | 190 | | 130 | | |
| 当期純利益 | 725 | 487 | 238 | 49.1% | 740 | | |

注) 当第3四半期の(株)三菱ケミカルホールディングスの連結財務諸表は、三菱化学(株)の中間連結財務諸表を引き継いで作成しているため、前年同四半期・前連結会計年度欄に三菱化学(株)の前期連結決算数値を記載して比較しております。

2. セグメント別売上高・営業利益

| | 当第3四半期 | | 前年同四半期 | | 増減 | | 通期予想 (H17.11.10公表) |
|------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-------|-------|--------|-----------------------|
| | (H17.4.1 - H17.12.31) | (H16.4.1 - H16.12.31) | (H16.4.1 - H16.12.31) | (%) | (%) | | |
| 売上高 | 石化 | 7,658 | 6,817 | 841 | 12.3% | 10,520 | |
| | 機能化学 | 3,970 | 3,499 | 471 | 13.5% | 5,390 | |
| | 機能材料 | 2,759 | 2,679 | 80 | 3.0% | 3,640 | |
| | ヘルスケア | 2,195 | 2,139 | 56 | 2.6% | 2,830 | |
| | サービス | 952 | 928 | 24 | 2.5% | 1,620 | |
| | 合計 | 17,534 | 16,062 | 1,472 | 9.2% | 24,000 | |
| 営業利益 | 石化 | 254 | 430 | 176 | 41.0% | 340 | |
| | 機能化学 | 381 | 311 | 70 | 22.6% | 460 | |
| | 機能材料 | 170 | 173 | 3 | 1.5% | 220 | |
| | ヘルスケア | 326 | 262 | 64 | 24.3% | 310 | |
| | サービス | 79 | 71 | 8 | 11.0% | 110 | |
| | コーポレート | 79 | 92 | 13 | 13.8% | 120 | |
| | 合計 | 1,131 | 1,155 | 24 | 2.1% | 1,320 | |

注) 前年同四半期：連結子会社1社の所属セグメント組替後(ヘルスケア 機能化学)

3. 比較貸借対照表

| 借方 | 当第3四半期末 | | | 増減 | 貸方 | | |
|---|---------|----------|-------|--------------|---------|----------|-------|
| | 当第3四半期末 | 前連結会計年度末 | 増減 | | 当第3四半期末 | 前連結会計年度末 | 増減 |
| 現金(1) | 997 | 552 | 445 | 借入金・CP・社債 | 7,292 | 7,040 | 252 |
| 棚卸資産 | 3,286 | 2,777 | 509 | 営業債務他 | 7,335 | 6,811 | 524 |
| 営業債権他 | 6,362 | 5,820 | 542 | 少数株主持分(2) | 679 | 1,394 | 715 |
| 固定資産 | 6,974 | 7,027 | 53 | 資本金・資本剰余金(2) | 4,629 | 2,622 | 2,007 |
| 投融資等 | 3,972 | 3,529 | 443 | 利益剰余金 | 2,160 | 1,630 | 530 |
| | | | | 評価差額金・為調他 | 695 | 218 | 477 |
| | | | | 自己株式(2) | 1,199 | 10 | 1,189 |
| 資産合計 | 21,591 | 19,705 | 1,886 | 負債及び資本合計 | 21,591 | 19,705 | 1,886 |
| 1:現金・現金同等物 | 959 | 526 | 433 | 株主資本 | 6,285 | 4,460 | 1,825 |
| 2:三菱化学(株)及び三菱ケルファーマ(株)は、平成17年10月3日に株式移転の方法により、(株)三菱ケミカルホールディングスを設立しました。 | | | | 株主資本比率 | 29.1% | 22.6% | 6.5% |
| | | | | 有利子負債(含割手) | 7,359 | 7,111 | 248 |
| | | | | D/E レシオ | 1.16 | 1.59 | 0.43 |

4. 連結範囲

| | 当第3四半期末 | | 増減 |
|---------|---------|----------|----|
| | 当第3四半期末 | 前連結会計年度末 | |
| 連結子会社 | 167 | 167 | 0 |
| 持分法適用会社 | 83 | 85 | 2 |
| 合計 | 250 | 252 | 2 |

注) 連結子会社の増減:株式移転に伴う子会社化1社(三菱化学(株))を含んでおります。

[参考] 通期業績予想 (平成17年11月10日公表)

| | 平成18年3月期 | |
|-------|----------|------|
| | 平成18年3月期 | (億円) |
| 売上高 | 24,000 | |
| 営業利益 | 1,320 | |
| 経常利益 | 1,360 | |
| 特別損益 | 100 | |
| 当期純利益 | 740 | |